

## 1.製品及び会社情報

### 製品情報

製品コード: FT  
製品の名称: ファインタッチ GC 砥粒

### 会社情報

会社名: ニューレジストン株式会社  
住所: 〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野 2-1-1  
担当部門: 技術開発部  
電話 0725-51-2297 FAX 0725-51-2397  
受付日時: 月曜日～金曜日 9:00～16:30

## 2.危険有害性の要約

### 危険性

使用中に砥石が破損し、周囲に飛散して人体に当たった場合、人身事故の恐れがある。  
使用中に発生する火花により、火傷と火災の恐れがある。

### 有害性

使用中に発生する粉塵を長時間にわたり吸引すると、じん肺に罹る恐れがある。

本製品の成分のうち、構成純物質に対して、GHS 分類による危険性有害情報は以下の通り。

### ・炭化珪素

GHS 分類: 発がん性:区分 1B  
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露):区分 1(呼吸器系)  
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露):区分1(吸入:肺)



### GHS ラベル要素

注意喚起語:危険  
危険有害性情報

- ・ 発がんのおそれ
- ・ 臓器(呼吸器系)の障害
- ・ 長期又は反復ばく露による肺の障害

### ・黒鉛

GHS 分類 区分なし

## 3.組成、成分情報

単一化学物質・混合物の区分: 混合物

成分及び含有量: (代表値)

※ GHS 分類対象外の化学物質については、未記載の成分有り

砥粒;炭化珪素 70%

CAS No: 409-21-2

官報公示整理番号(化審法・安衛法): 1-174

労働安全衛生法第57条の2(令第18条の2別表第9)名称等を通知すべき有害物:政令番号336

化学物質管理促進法(PRTR法)第一種指定化学物質(管理番号:667)

黒鉛 1%

CAS No: 7782-42-5

官報公示整理番号(化審法・安衛法): 対象外

労働安全衛生法第57条の2(令第18条の2別表第9)名称等を通知すべき有害物:非該当

結合剤として、熱硬化性樹脂を使用

補強材として、ガラス長繊維(※)を使用

※本製品に使用しているガラス長繊維は、WHOが定めた、肺奥まで吸入される吸入性繊維(長さ5 $\mu$ m以上、太さ3 $\mu$ m未満、アスペクト比3以上のもの)の対象外となる。

取り付け部分にアルミニウム、もしくはブリキ製の座金を使用

---

#### 4.応急措置

吸入した場合:新鮮な空気のある場所に移す。症状が激しい場合は医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合:流水と石けんで洗浄する。症状が激しい場合は医師の診察を受ける。

目に入った場合:流水で丁寧に洗浄を行う。症状が激しい場合は医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合:口をすすぐ。多量の水を飲ませ、嘔吐させる。症状が激しい場合は医師の診察を受ける。

併せて、“7. 取扱い及び保管上の注意”の項目をご参照下さい。

---

#### 5.火災時の措置

適切な消火剤: 特に制約なし

使ってはならない消火剤:特に制約なし

---

#### 6.漏出時の措置

人体に対する注意事項: 特になし

環境に対する注意事項: 特になし

封じ込め及び浄化の方法及び機材: 封じ込め及び浄化の必要はなし。漏出時には適切な容器に収納する

---

#### 7.取扱い及び保管上の注意 取扱い

技術的対策: 特になし

注意事項: 本製品は、成形工程にて固化していますので、通常の使用等においては、特に問題ありません。

但し、発生する粉塵又はミスト等には、防塵対策を施してください。合わせて、被加工物のSDSをご参照下さい。

以下の場合には必要に応じて医師の診察を受けて下さい。

1. 吸入した場合
2. 皮膚に付着した場合
3. 目に入った場合
4. 飲み込んだ場合

局所排気: 上記理由のため必要に応じて排気装置等を使用して下さい。

粉塵の発生防止: 上記理由のため必要に応じて集塵機等を使用して下さい。

特別の安全取扱い: 特になし

保管

保管条件: 劣化防止のため、高温及び多湿を避けて、乾燥した冷暗所にて保管して下さい。

適切な技術的対策: 特になし

混合接触禁止物質: 酸化、強アルカリ、強酸性物質

推奨する安全な容器包装材料: 付属容器

不適切な容器包装材料：特になし

## 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度：3.0mg/m<sup>3</sup>（土石、岩石、鉱物、金属、または炭素の粉塵）

※E(管理濃度) = 3.0 / (1.19Q + 1) に則り、遊離ケイ酸 Q の値を 0 とみなして算出

許容濃度：第一種粉塵 吸入性粉塵 = 0.5mg/m<sup>3</sup> 日本産業衛生学会 (2016 年度版)

第一種粉塵 総粉塵 = 2mg/m<sup>3</sup> 日本産業衛生学会 (2016 年度版)

※第一種粉塵である黒鉛の許容濃度(後述)を基に決定

構成純物質の管理濃度及び許容濃度

### 炭化珪素

管理濃度：設定されていない

許容濃度：TWA 10mg/m<sup>3</sup> (I,E)あるいは 3mg/m<sup>3</sup> (R,E) ※非繊維質のもの (ACGIH:2015 TLVs and BEIs)

### 黒鉛

管理濃度：3.0mg/m<sup>3</sup> (炭素粉塵として)

許容濃度：第一種粉塵 吸入性粉塵 = 0.5mg/m<sup>3</sup> 日本産業衛生学会 (2016 年度版)

第一種粉塵 総粉塵 = 2mg/m<sup>3</sup> 日本産業衛生学会 (2016 年度版)

：TWA 2mg/m<sup>3</sup> ※グラファイトファイバーを除く (ACGIH:2015 TLVs and BEIs)

※結合剤として使用される熱硬化性樹脂の粉塵は第二種粉塵(吸入性粉塵 = 1mg/m<sup>3</sup> 総粉塵 = 4mg/m<sup>3</sup>)に該当  
※補強材として使用されるガラス長繊維の粉塵は第三種粉塵(吸入性粉塵 = 2mg/m<sup>3</sup> 総粉塵 = 8mg/m<sup>3</sup>)に該当

適切な保護具：切断・研削時等には、大量の粉塵又はミスト等に暴露される恐れがあるため、労働衛生保護具を必ず着用して下さい。

呼吸器の保護具：(微粒子状物質用)防塵マスクなど、保護手袋、保護眼鏡、作業服など

適切な衛生対策：必要に応じて防音保護具(耳栓)など

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態：固形物。揮発・昇華性はない。

形状：黒色円形板状。

臭い：特異臭は無し。

pH及びその濃度：固形物のため、該当せず。

溶媒に対する溶解性：水及び、油に不溶。

各純物質の物理的及び化学的性質は以下の通り

	炭化珪素	黒鉛
形状	粉末又は結晶性粉末	粉末
色	黄色、緑色、青色及び黒色	黒色
臭い	データなし	無臭
pH	データなし	データなし
融点・凝固点	2600℃	3338℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	2010℃で分解	3600～3700℃
引火点	不燃性	500～600℃
自然発火温度	不燃性	データなし
燃焼性(固体、ガス)	不燃性	データなし

爆発範囲	不燃性	データなし
蒸気圧	データなし	データなし
蒸気密度	データなし	データなし
蒸発速度(酢酸ブチル = 1)	該当しない	該当しない
比重(密度)	3.23 g/cm <sup>3</sup>	2.09 ~ 2.03 g/cm <sup>3</sup>
溶解度	不溶	水に不溶及び有機溶媒に不溶
オクタノール・水分配係数	該当しない	該当しない
分解温度	2010℃	データなし
粘度	該当しない	データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性:特になし

化学的安定性: 常温で安定である

避けるべき条件: 高温及び多湿条件

混合接触禁止物質: 酸化、強酸、強アルカリ性物質

危険有害な分解生成物: 特になし

## 11. 有害性情報

急性毒性: 区分に該当しない

皮膚腐食性/刺激性: データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: データなし

呼吸器感作成又は皮膚感作成: データなし

生殖細胞変異原性: データなし

発がん性: 区分 1B

生殖毒性: データなし

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 1(呼吸器系)

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 1(肺;吸入)

誤えん有害性: データなし

暴露経路: "7. 取扱い及び保管上の注意"の項目をご参照下さい。

構成純物質の有害性情報は以下の通り

### ・炭化珪素

発がん性: 区分 1B

発がんのおそれ。ACGIH で A2 と分類されていることに基づき、区分 1B とした。

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露): 区分 1(呼吸器系)

呼吸器系の障害。ラットにおいて区分 1 のガイダンス値範囲内の用量で、肺水腫、肺出血、間質性肺炎、細気管支崩壊、肺胞の拡張不全が見られたとの記載に基づき、区分 1(呼吸器系)とした。

特定標的臓器/全身毒性(反復暴露): 区分 1(吸入:肺)

長期または反復ばく露による肺の障害。ヒトでじん肺症、胸部 X 線画像の変化、肺線維症、結節、珪肺症が見られたとの記載があることに基づき、区分 1(肺)とした。

### ・黒鉛

情報無し

## 12. 環境影響情報

移動性: "7. 取扱い及び保管上の注意"の項目をご参照下さい。

生態毒性: データなし

残留性／分解性：データなし

生体蓄積性：データなし

土壤中の移動性：データなし

オゾン層への有害性：データなし

環境中での化学物質等の予測される挙動：データなし

起こり得る環境影響：切断・研削等において、研削屑(粉塵・ミストも含む)としてごく微量排出されます。

構成純物質の環境影響情報は以下の通り

**炭化珪素**

分類されず

**黒鉛**

情報無し

---

**13. 廃棄上の注意** 環境上望ましい廃棄のために推奨される方法：産業廃棄物に関する国、都道府県、市町村の関連法規、条例などに従い、産業廃棄物として、産業廃棄物業者に回収を委託して下さい。

残余廃棄物：特になし

汚染容器・包装：特になし

---

**14. 輸送上の注意** 国際規制によるコード及び分類に関する情報：該当しない

---

**15. 適用法令**

消防法： 非該当

毒物及び劇物取締法： 非該当

労働安全衛生法： 法第 57 条の2(令第 18 条の 2 別表第 9)名称等を通知すべき有害物

粉じん障害防止規則 粉じん作業(第 1 章 第 2 条)

船舶安全法(危規則)： 非該当

航空法： 非該当

化学物質管理促進法(PRTR 法)：第一種指定化学物質(管理番号:667)

---

**16. その他の情報** 本データシートに記載された内容は、現時点で入手できる資料、情報に基づき作成したものであり、新しい知見により変更される場合がある。また、注意事項は、通常の手扱いを対象にしたもので、安全を保証するものではない。